

第97回都市対抗野球

近畿2次予選 第4代表決定T マツゲン逃げ切る YBSに4-2 /和歌山

地域 | 和歌山 | 関西

毎日新聞 | 2026/6/16 地方版 | 有料記事 | 560文字



【マツゲン箕島-YBSホールディングス】7回を2失点に抑えたマツゲン箕島の先発・奥田＝大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで、矢倉健次撮影

第97回都市対抗野球大会近畿地区2次予選（日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催）は15日、大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで第4代表決定トーナメント3回戦があり、マツゲン箕島（有田市）は4-2でYBSホールディングス（兵庫県赤穂市・姫路市）を振り切り、16日の同4回戦に進んだ。【栗林創造、中田博維、矢倉健次、来住哲司】

マツゲン箕島は一回、2死二塁から竹中の適時打で先制。二回は松田の2点適時二塁打で加点した。奥田は要所を締める投球で7回2失点と好投。YBSホールディングスは七回、秋山の適時打などで2点を返したが、序

盤の失点が痛かった。

打撃の立役者

〇…マツゲン箕島は企業チームから今予選2勝目を挙げて次戦につなげた。打撃の立役者となったのは1番・松田陸斗で、一回にチーム初安打で出塁して先制のホームを踏み、二回は2死二、三塁から2点適時二塁打を放った。「二回はタイミングを外されたが、うまくバットの先で拾って外野へ持っていった。前打者がバントで進めた走者だったので、期待に応えたかった」と自らの打撃に自信を深めた様子。勤務先のスーパー店舗では揚げ物と弁当作りが担当。「常に段取りを考えながらの仕事が、野球にもプラスになっている」という。チームで一番の俊足でもある24歳は、さらなる勝ち上がりを目指す。